

JOHANNES BRAHMS

ブラームス (1833 - 1897)

ブラームス自身の編曲による
4手ピアノ連弾版を用いた
《ドイツレクイエム》

Ein deutsches Requiem Op.45

「ドイツレクイエム」作品45【ブラームスによるピアノ4手連弾版】(1868年)

Warum ist das Licht gegeben dem Mühseligen Op.74-1

「2つのモテット」作品74 - 第1曲 何ゆえ悩む者に光を与えたのか (1877年)



ピアノ
山中麻鈴



ピアノ
秋山友貴



指揮
馬場武蔵



ソプラノ
小林 恵



バリトン
駒田敏章

合唱：オルフ祝祭合唱団

合唱指揮：小河佑樹 小林恵 櫻井愛子 櫻井奈々子 山神健志

2026年9月27日(日) 14:30 開演

[14:00 開場 / 16:10 終演予定]

小金井宮地楽器ホール大ホール

(JR 中央線 武蔵小金井駅南口駅前 徒歩 1 分)

3,000 円【全自由席】

主催・お問合せ：オルフ祝祭合唱団事務局 Tel : 03-3367-2451

※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。

URL : <https://orffsyukusai.jimdo.com/>

※開演後の入場は制限させていただく場合がございます。

email : HZU04357@icloud.com



2025年10月12日(日) TOPPAN ホール 創立30周年演奏会

指揮：馬場武蔵 BABA, Musashi

ベルリン音楽大学トロンボーン科、フランクフルト音楽舞台芸術大学指揮科卒業。18/19年度アンサンブルモデルンアカデミー生。マヌエル・ナウリ、ジョルト・ナジ、ルーカス・フィス、ヴァシリ・クリストプーロスに師事。ベルリンドイツオペラ、ギリシャ国立歌劇場、ユングドイチェフィルなどでアシスタントを務め、サー・ジョージ・ベンジャミン、ディーマ・スロボデニウク、アレホ・ペレスなど数多くの指揮者に学んだ。

指揮したアンサンブルにデッサウ・アンハルトフィル、ノイブランデンブルグフィル、プレーマーハーフェンフィル、Zafran Ensemble、Ergon Ensemble、Tempus Konnex ほか多数。ヴィッテン、ガウデアムス、韓国・大邱ほか各国の現代音楽祭に招待される。

24年に帰国後、現代音楽の分野を中心に活動するほか、新国立劇場などのオペラ公演にも副指揮者として多数携わる。これまでに日本・ドイツを中心とする12カ国で指揮。100作品を超える新作初演指揮を担当。オペラのレパートリーは18作品にのぼる。アンサンブルトーンシーク指揮者。国立音楽大学非常勤講師。

ピアノ：秋山友貴 AKIYAMA, Tomoki

東京藝術大学、パリ国立高等音楽院、スコラ・カントルムにて作曲、ピアノ、室内楽等を学び、現在パリ国立高等音楽院伴奏助手。フランスを代表する現代音楽アンサンブル L'itinéraire (イティネレール)、および Ensemble Toneseek、AKIYAMA Quartet のメンバーとして活動、またソリストとして新日本フィルハーモニー交響楽団等と共演するほか、アンサンブル・アンテルコンタンポランをはじめ国内外のアンサンブルやオーケストラに客演し、創作と演奏の両領域を横断する独自の表現を追求している。

ピアノ：山中麻鈴 YAMANAKA, Marin

兵庫県神戸市出身。3歳よりピアノ、5歳より作曲を始める。東京藝術大学音楽学部作曲科、同大学大学院修士課程を修了後渡仏。パリ国立高等音楽院ピアノ伴奏科修士課程を審査員満場一致の最優秀の成績で修了。帰国後は東京藝術大学指揮科・声楽科非常勤講師(演奏研究員)を務める。これまでに二期会等多数のオペラ公演にコレパティトゥールとして参加。ソロ、室内楽だけでなくオーケストラの鍵盤楽器奏者、新曲初演にも携わっている。



● 新宿から快速で25分
● 武蔵小金井駅南口駅前徒歩1分

「ドイツレクイエム」は本来大編成の管弦楽を伴う作品ですが、本公演では1869年に出版されたブラームス自身の編曲による4手ピアノ連弾版を伴奏に使い、連弾の響きを活かしたアンサンブルを探ります。指揮は、欧州で研鑽を重ねた現代音楽の気鋭、馬場武蔵。独唱は、豊かな音色と音楽性を有するソプラノ小林 恵、バリトンは新国立劇場で活躍し、重厚な声と存在感を誇る実力派、駒田敏章。ピアノはパリで研鑽を積み国際的に活躍する秋山友貴と山中麻鈴。豪華キャストでお届けするブラームス、ご期待ください。

ソプラノ：小林 恵 KOBAYASHI, Megumi

青山学院大学文学部史学科卒業。東京藝術大学大学院古楽科バロック声楽専攻修士課程修了。主に宗教作品でソリストを務めるほか、エクス・ノーヴォ、プロムジカ使節団、サリクス・カンマーコア等の演奏会・録音に参加。イギリス作品の演奏会シリーズを主催する。2025年 第36回国際古楽コンクール(山梨)第2位(最高位)。エルヴィオ・ソヌス合唱団、東京スコラ・カントルム、パッサコア横浜、ヨス・ファン・フェルトホーフェン合唱団等ヴォイストレーナー。青山学院大学聖歌隊副指揮者。

バリトン：駒田敏章 KOMADA, Toshiaki

バリトン歌手。名古屋市出身。愛知教育大学を経て、東京藝術大学大学院修了。大学在学中はドイツ歌曲とオラトリオを中心に学ぶ。新国立劇場オペラ研修所11期修了後、文化庁海外派遣制度でドイツ・ベルリンに留学。新国立劇場、セイジ・オザワ松本フェスティバルなどでオペラに出演している。2025年は、新国立劇場のベルグ「ヴォツェック」で、急な代役でタイトルロールを務め絶賛を博した。第83回日本音楽コンクール声楽部門(歌曲)第1位。

合唱：オルフ祝祭合唱団 Orff Festival Chorus

オルフ祝祭合唱団は、合唱とバレエと管弦楽を融合した「合唱舞踊劇」のカンパニー、「O.F.C.」の合唱部門として1995年に誕生した。歌に専念する合唱隊と歌いながら踊るコロス(合唱群舞隊)からなり、コロスは、合唱とダンスを効果的に融合させている。2013年に合唱舞踊劇『カルミナ・ブラーナ』が評価され文化庁芸術祭大賞(舞踊部門 関東参加公演の部)を受賞。純粋な合唱団としても、マラー『交響曲第二番「復活」』『交響曲第三番』、オルフ『勝利三部作』、ベートーヴェン『交響曲第9番』、プーランク『グロリア』、バルトーク『中国の不思議な役人』等の作品で多数の管弦楽団との共演を行っている。2005年には東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団の定期公演で『カルミナ・ブラーナ』に出演するなど高い評価を得る。2022年5月14日に行われたO.F.C.の最終公演に伴い、独立。現在は合唱団として独自の演奏活動を続けている。

〔スタッフ〕 合唱指導：小河佑樹 小林 恵 櫻井愛子 櫻井奈々子 山神健志
伴 奏：河内菜穂
制 作：佐藤江美子
企画制作：柴 大元

チケット前売 3,000円【全自由席】



小金井宮地楽器ホールチケットデスク

ホール窓口販売のみ(場所は左地図を参照ください)
受付時間：10:00～19:00(休館日を除く)
お問合せ：042-380-8099



teket <https://teket.jp/14342/67596>
(テケット)24時間予約可能な電子チケットサービス。パソコン、スマートフォンからご購入いただけます。会員登録をして購入、もしくは会員登録せずに購入することが可能です。お支払いはクレジットカード(VISA、MasterCard、JCB、AMEX、Diners)もしくはコンビニ支払いがご利用頂けます。

オルフ祝祭合唱団

～4台/2台ピアノ・打楽器群伴奏による～
オルフ「カルミナ・ブラーナ」
ストラヴィンスキー「結婚」 他

2028年2月27日(日) 東京オペラシティコンサートホール

指揮：馬場武蔵 ピアノ：秋山友貴(予定) 山中麻鈴(予定)

ソプラノ：中江早希 アルト：野間 愛

テノール：金沢青児 バリトン：未定

参加者募集！

練習：2026年11月より

毎週日曜日14:10～16:50

会場：新宿区内施設

指導：小河佑樹 小林 恵 櫻井愛子

櫻井奈々子 山神健志

問合せ：hzu04357@icloud.com(柴)

11月
スタート

見学・参加申込



次回
演奏会の
ご案内